

## 第16回 OCOD/HTC 共同開催セミナー

# 企業の利益につながるビジネス倫理の活用法

令和2年2月6日(木)15:00~17:30 東京国際フォーラム G510 会議室

### ■ セミナー概要

昨今の企業等を取り巻く環境に鑑みると、社会一般から受け入れられない行為を企業が行っている場合、それが明確に法に触れなくても、企業に対する信用・信頼・レピュテーションの重大な低下に繋がることの多いことが分かります。コンプライアンス重視の経営の重要性について叫ばれるようになって久しいですが、一歩踏み込んで「倫理的思考」を採り込むことが今後の企業の存続と成長には不可欠です。本セミナーでは、ビジネス倫理学者でもある講師が昨今の企業等で起こりうる二つの事例(実例)をもとに、現在の企業が今後も存続し持続的な成長を実現していくためにコンプラ経営に採り込むべき倫理的思考について、分かりやすく解説いたします。

#### 1 企業活動に不可欠なビジネス倫理の思考法とは？

「妊婦に危険性のある工場勤務」のケース  
会社と組合の主張の背景と問題解決の知見

- ① 自由主義と他者危害原則 / 不快原則とは？
- ② 個人の立場からの主張とは？
- ③ 会社側の言い分は？
- ④ 連邦最高裁判所はどう判断したか？

#### 2 企業経営になぜ道德(モラル)思考は必要なのか？

「途上国での廃棄物処理」のケース

- ① 倫理と道德の違いとは？
- ② 本ケースのジレンマ及びその対応とは？

#### ③ ビジネスにおいて道德的相対主義は通用するか？

#### ④ 普遍的な道德規範 - 定言命法とは？

#### 3 迷ったときの正しい倫理判断プロセスとは？

- ① 今見直すべき「商家の家訓」
- ② 経営理念の浸透度と問題解決力の相関性とは？
- ③ リーダーシップに道德は関係するか？
- ④ 迷ったときの倫理的判断プロセスとは？
- ⑤ まとめ

### 【担当講師】中谷 常二 近畿大学経営学部教授

人事院公務員研修所客員教授を兼任。日本経営倫理学会 監事

京都大学大学院修士課程修了。大阪大学大学院博士課程修了。博士(国際公共政策)。

日本学術振興会特別研究員、ミネソタ大学カールソン経営大学院客員教授などを経て、現職。

中央官庁の総合職向けの倫理研修を多数手がける。近年はマレーシアやミャンマーなどの海外の中央官庁の公務員への研修も担当。NTT グループ各社、JX ホールディングス、中国電力、明治安田生命、花王など多くの企業で倫理研修を実施。

専門は、ビジネス倫理、公務員倫理、ソーシャルメディアの倫理など。

主な著書等：『ビジネス倫理学』、『利益につながるビジネス倫理』、『ビジネス倫理学読本』。いずれも晃洋書房刊。

## ■ 開催概要

日時：令和2年2月6日（木）15:00～17:30  
会場：東京国際フォーラム ガラスホール棟5階 G510 会議室（東京都千代田区丸の内3-5-1）  
対象者：経営者、取締役、監査役、管理職の皆様  
受講料：23,000円  
定員：50名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）

### 【会場案内図】



### 【アクセス】

#### JR線

有楽町駅より徒歩1分(D5出口)／東京駅より徒歩5分

#### 地下鉄

有楽町線：有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)

日比谷線：銀座駅より徒歩5分／日比谷駅より徒歩5分

丸の内線：銀座駅より徒歩5分

### 【お申込方法】

\* 下記申込書の項目にご記入の上、FAXまたは申込書の項目をEメールに記載しお申し込みください。

E-mail：[honbu@ocod.or.jp](mailto:honbu@ocod.or.jp)

\* 原則、申込後2営業日以内の振込確認ができない場合、キャンセル扱いとさせていただきます。

\* 出欠にかかわらず受講料のご返金はいたしかねます。

\* 当日は名刺をご持参ください。

振込先／三菱UFJ銀行 日比谷支店(330) 普通預金 4503661  
振込口座名／シャ)コンプライアンススイシンキコウ

## 2月6日（木）OCOD-HTC 共同開催セミナー 参加申込書

お申込み：FAX. 03-5776-5099

お申込み日：令和2年 月 日

お名前		
ご勤務先		
所属部署・役職		
ご連絡先	TEL.	Eメールアドレス
領収証要否	(要チェック) <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要	※領収証が必要な方はご記入ください。 領収証宛名： 送付先住所：

一般社団法人 **コンプライアンス推進機構**

〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル

TEL:03-5776-5097 FAX:03-5776-5099 E-mail: [honbu@ocod.or.jp](mailto:honbu@ocod.or.jp)